

アンケート調査結果のまとめ

調査の概要

項目	内容			
調査目的	令和4年度からの10年間を目標年次とする新たな羽幌町総合振興計画の策定にあたり、住民意向調査・分析を行い、羽幌町がまちの将来像やまちづくりの方向性を検討するための基礎資料とすることを目的とする。			
調査方法等	区分	調査対象者数	調査方法	調査期間
	町民	1,000人 (羽幌地区830人、 天売島100人、 焼尻島70人)	郵送による発送・回収、およびWEBによる回答	令和2年11月 ～ 令和2年12月
	小学生	47人 (小学6年生)	学校にて配布・回収	
	中学生	46人 (中学3年生)	学校にて配布・回収	
	高校生	57人 (高校3年生)	学校にて配布・回収	
	企業	70社	郵送による発送・回収、およびWEBによる回答	
抽出方法	町民	15歳以上の町民から無作為に抽出		
	小学生	羽幌町立羽幌小学校 6年生		
	中学生	羽幌町立羽幌中学校 3年生		
	高校生	北海道羽幌高等学校 3年生		
	企業	羽幌町内企業から無作為抽出		
回収状況	区分	配布数	回収数	回収率
	町民	1000	411 (うちweb回答88)	41.1%
	小学生	47	40	85.1%
	中学生	46	40	86.9%
	高校生	57	57	100.0%
	企業	70	37 (うちweb回答6)	52.9%

調査結果（概要）

項目	内容
自然環境	<p>施策 24 海鳥保護事業は「まずまず評価する」が 50.1%と最も多い。</p> <p>問 9 企業が環境配慮のために実行していることは「ごみを出さない工夫やリサイクルによる減量化」が 20 件と最も多い。</p>
医療・福祉	<p>施策 13 高齢者や障がい者などの福祉サービスは「まずまず評価する」が 46.8%と最も多い。</p> <p>施策 23 福祉ハイヤー乗車券の配布は「まずまず評価する」が 44.8%と最も多い。</p>
子育て	<p>施策 14 就学前児童対象の子育て支援は「まずまず評価する」が 36.2%と最も多い。</p> <p>問 10 町民から見る子育てについて重要な点は「妊娠・出産・産後支援の充実」が 232 件と最も多く、出産前後の支援の要望が強い傾向にある。</p>
コミュニティ	<p>問 1・2 小学生が、羽幌町で行われているお祭りやイベントの中で、「参加したことがある」参加したことがあるイベントと一番好きなイベントをあわせて見ると、「お祭り」の満足度が高いことがわかる。</p> <p>問 8 中学校での国際化社会を迎えるために必要な取組みは「外国から羽幌町へ勉強・研修に来てもらい、交流する機会を増やす」、「外国から大勢の観光客に来てもらい、町民と接する機会を増やす」が 22.5%と最も多い。</p> <p>問 8 高校生から見る、国際化社会を迎え必要な取組みは「外国へ勉強・研修にいけるような制度を充実させる」が 33.3%と最も多い。</p>

項 目	内 容
文化・教育	<p>施策 3 町民スキー場の整備・運営は「まずまず評価する」が 38.4%と最も多い。</p> <p>施策 15 文化・芸術、生涯学習は「まずまず評価する」が 39.5%と最も多い。</p> <p>施策 20 羽幌小学校校舎の改築は「まずまず評価する」が 43.0%と最も多い。</p> <p>問 11 町民から見る学校教育について重要な点は「学校と家庭・地域との連携強化」が 256 件と最も多い。</p> <p>問 4 小学校の学校環境については「学校給食について」の「とても満足」が 57.5%と最も高く、続いて「学校校舎について」が 45.0%となっており、「とても満足」、「やや満足」を合わせると約 80%満足していることがわかる。</p> <p>問 7 中学生から見る学校環境については「学校給食について」が最も満足度が高く、一方で、「学校校舎について」は、老朽化や冬の寒さなどにより、不満度が高い傾向にあった。</p>

項 目	内 容
行政・パートナーシップ	<p>施策 18 広報誌、HP 等広報事業は「まずまず評価する」が 53.9%と最も多い。</p> <p>施策 19 町政懇談会等の広聴事業は「まずまず評価する」が 32.1%と最も多い。</p> <p>問 10 企業が地域貢献活動を実施するためには「税制上の優遇措置など経済的なメリット」が 48.7%と最も多い。</p> <p>問 12 町民が協力したいと思う町内や地域での活動については「まちおこし活動（行事への参加・協力、企画・運営など）」が 155 件と最も多い。</p> <p>問 13 町民が考える「まちづくり」への参加方法については「選挙や世論調査（アンケートなど）で意思表示したい」が 147 件と最も多い。</p> <p>問 5・6 中学生のボランティア活動については「参加したことがある」が 40.0%と最も多い一方で、現在参加している生徒は 2.5%（一人）である。「関心はあるが、参加したいとは思わない」が 27.5%いることから、興味のあるボランティアであれば、参加する可能性もあると考えられる。また、経験のある、または参加してみたい活動内容については、「海岸のごみ拾い」への関心が最も高いことが分かる。続いて、募金活動に関する回答が多い。</p> <p>問 6・7 高校生のボランティア活動については「参加したことがある」が 70.1%と最も多く、経験のある、または参加してみたい活動内容については「甘エビまつり」や「子どもフェスティバル」などのイベントの手伝いが多い。</p> <p>問 11 企業の意見を町政へ反映させるためには「行政との意見交換の場の拡充」が 14 件と最も多い。</p>
まちの活性化	<p>施策 10 移住定住対策は「あまり評価できない」が 27.3%と最も多い。</p> <p>問 6 町民から見る羽幌町の活性化のために取組むべき点は「農業・漁業など地場産業の振興」が 151 件と最も多い。</p> <p>問 1 中学生から見る羽幌町の活性化のために取組むべき点は「お祭りやイベントなどの充実による活性化」が 21 件と最も多い。</p> <p>問 5 高校生から見る羽幌町の活性化のために取組むべき点は中学生同様、「お祭りやイベントなどの充実による活性化」が 33 件と最も多い。</p>

項 目	内 容
将来像	<p>問5 町民にとっての「まちづくり」の重要な課題は「人口減少、地域衰退の抑制対策」が35.5%と最も多い。</p> <p>問4 中学生の将来の羽幌町のイメージは「観光の盛んな活力あるまち」が20件と最も多い。</p> <p>問9 高校生からみた紹介したい羽幌町の魅力は「自然環境が豊かである」が44件と最も多い。</p> <p>問10 高校生から見る将来の羽幌町のイメージは「買い物など日常生活が便利なまち」が21件と最も多い。</p>
離島振興	<p>問18 羽幌地区の町民のうち、天売島・焼尻島への訪問については「3. 天売・焼尻島の両方に行ったことがある」が56.5%と最も多く、続いて「行ったことがない」が12.7%となっている。</p> <p>問19 羽幌地区の町民のうち、天売島・焼尻島のイメージは「自然・風景が良い」が241件と最も多く、続いて「海鳥や原生林など自然が豊富」が195件、「海が綺麗」が183件の順となっている。</p> <p>問21 町民が思う島の今後については「漁業・商工業などの産業が盛んな活力のある島」と「4. 少子・高齢化に対応した福祉・医療が充実した安心な島」が49件と最も多く</p> <p>問22 離島振興について重要な点は「5. 交通費（フェリー運賃）の低価格化」が221件と最も多い</p>

項 目	内 容
産業	<p>施策 1 イベント開催などの観光振興策は「まずまず評価する」が 45.0%と最も多い。</p> <p>施策 25 農林業の振興は「知らない分からない」が 40.6%と最も多い。</p> <p>施策 26 漁業の振興は「知らない分からない」が 36.9%と最も多い。</p> <p>施策 27 商工業の振興は「知らない分からない」が 38.2%と最も多い。</p> <p>問 3 企業に対する支援としては、設備更新等への支援金制度が求められている。</p> <p>問 7 町民による産業振興において重要な点は「雇用の場の確保対策」が 187 件と最も多く、続いて「特産品、地場産品の振興・開発、販路拡大、ブランド育成、P Rの強化」が 148 件、「後継者となる担い手の人材育成対策」が 131 件の順となっています。このことから、多くの人が雇用や人材育成等に対して重要と感じている事がわかります。</p> <p>問 8 観光振興において重要な点は「地域の素材を活用した特色ある食、土産品の開発」が 127 件と最も多い。</p> <p>問 2 企業が現在抱える経営上の問題点は「受注量（顧客）の減少」が 17 件と最も多い。</p> <p>問 4 企業が考える、産業振興において必要と思う施策は「経営基盤の強化支援」、「雇用の場の確保対策」、「特産品、地場産品の振興・開発、販路拡大、ブランド育成、P Rの強化」が 12 件と最も多い。</p> <p>問 6 企業の新型コロナウイルス感染症の影響については「ある」が 73.7%と最も多く、顧客の減少、売上の減少、収入減、消費減などが挙げられる。</p> <p>問 7 企業がコロナ時代に対応するための取組みは「影響を受けている産業等への経済対策」が 26 件と最も多い。</p> <p>問 5 企業が考える、産業振興のための基盤整備で優先すべき点は「医療施設の整備」が 20 件と最も多い。</p> <p>（小学生、中学生の学校給食に対する評価が高く、地元の食材を使用していることを伝えることで、地域の資源の良さへの理解へとつながると考えられる。）</p>

項 目	内 容
雇用・定住	<p>施策 17 人づくり補助事業などの人材育成は「知らない分からない」が 33.2%と最も多い。</p> <p>問 8 勤労者対策で重要な点は「移住者受入れの促進」が 15 件と最も多く、続いて「育児・介護などに対する支援」が 13 件の順となっている。</p> <p>問 7 小学生の大人になっても羽幌町に住みたいかについては「羽幌町以外のまちに住みたいと思う」が 70.7%であり、「都会に住みたい」「目指すものが羽幌町に無い」「買い物する場所が無い」などの意見が多く挙げられている。</p> <p>問 4 高校生が卒業後に羽幌町に住みたいかは「羽幌町以外のまちに住みたい」が 71.9%と最も多く、「就職先がないから」「都会に住みたいから」などの意見が多い。</p> <p>問 3 中学生の 10 年後も羽幌町に住んでいたいかは「羽幌町以外のまちに住みたいと思う」が 62.5%と多く、羽幌町外に住みたい理由としては、「やりたい仕事がない」「仕事の選択肢が少ない」など、就職先への不安の意見が多く挙げられた。</p> <p>問 9 中学生にとってまちに住み続けるために必要なことは「観光・レジャー施設を充実させるなど、休日に楽しめる場所を増やす」が 12 件と最も多いことから、進学や就職、休日に楽しむための施設の充実が求められていることがわかる。</p> <p>問 11 高校生から見ると、まちに住み続けるために必要なことは「観光・レジャー施設を充実させるなど、休日に楽しめる場所を増やす」が 21 件と最も多い。</p>

項 目	内 容
暮らし・住環境	<p>施策 6 「ほっと号」の運営は「まずまず評価する」が 46.6%と最も多い。</p> <p>施策 8 町営・公営住宅、教職員住宅整備は「まずまず評価する」が 39.3%と最も多い。</p> <p>施策 9 空き家対策は「あまり評価できない」が 26.6%と最も多い。</p> <p>問 9 町民から見る高齢者の生活に重要な点は「医療体制の充実」が 278 件と最も多い。</p> <p>問 20 島民が島での生活について優先すべき点は「安定的な医師確保に向けた取り組み」が 66 件と最も多い。</p> <p>問 5 小学生の通学路については「空き家など古い建物があって、怖いと感じたことがある」が 10 件と最も多く、特に宮坂デパートへの意見が多い。</p>
インフラ	<p>施策 2 武道館の整備は「まずまず評価する」が 37.4%と最も多い。</p> <p>施策 4 町道の維持、整備、除雪対策は「まずまず評価する」が 44.2%と最も多い。</p> <p>施策 5 天売・焼尻港、羽幌港の整備は「まずまず評価する」が 48.5%と最も多い。</p> <p>施策 7 公共下水道の整備は「まずまず評価する」が 44.5%と最も多い。</p> <p>施策 16 スポーツ施設の維持管理は「まずまず評価する」が 38.8%と最も多い。</p> <p>施策 21 「はまなす聖苑」の整備は「まずまず評価する」が 45.4%と最も多い。</p> <p>問 3 小学生から見る羽幌町の施設については、全ての施設の満足度は 50%以上となっている一方で「スポーツ公園」、「オロちゃんランド」は不満の割合が 40%以上ある。</p>
防災	<p>施策 11 防災対策事業は「まずまず評価する」が 41.3%と最も多い。</p> <p>問 14 町民が行う家庭での災害の備えについては「ラジオ・懐中電灯を準備」が 260 件と最も多く、続いて「食料品・飲料水等を備蓄（3日分以上）」が 156 件となっている。</p> <p>問 15 町民が思う、町の防災対策について重要な点は「避難所の整備」234 件と最も多く、続いて「災害に関する情報提供の強化」が 224 件、「非常食や資機材などの備蓄」が 160 件の順となっている。</p>

項 目	内 容
その他	<p>問 16 町民が思う新型コロナウイルス感染症拡大による生活の変化については「マスクの着用や手洗いなど感染予防に努めている。」が 363 件と最も多く、続いて「以前よりも旅行や出張など遠出する機会が減った。」が 226 件、「町外から観光客や帰省客が訪れることに抵抗感を感じるようになった。」が 193 件の順となっている。</p> <p>問 17 町民が思う、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中で社会生活に重要な点は「個々人による感染予防対策の徹底」が 342 件と最も多く、続いて「ワクチン、治療薬の確保」が 266 件、「保健・医療体制の充実」が 218 件の順となっている。</p> <p>問 6 小学生の羽幌町が好きかについては「好き」が 57.5%と多く、自然豊かなことが好きな理由で多く挙げられている。</p> <p>問 2 町民が愛着を感じているかについては、75.9%が羽幌町に愛着を感じている。</p> <p>問 2 中学生が愛着を感じているかについては、97.5%の生徒が羽幌町に愛着を感じている。</p> <p>問 3 高校生が愛着を感じているかについては 75.4%の生徒が羽幌町に愛着を感じている。</p> <p>⇒中学生の 97.5%は羽幌町へ愛着を感じており、高校生に上がると 75.4%と愛着度が減少する。町民では高校生とほぼ同程度の 75.4%であるが、「愛情をととても感じている」割合は高校生よりも多い。</p>